

SDGsアクション①

ミツバチが
教えてくれる
自然の大切さ

〔NPO法人
梅田ミツバチプロジェクト〕

ヤンマー本社ビルの茶屋町養蜂場で暮らすミツバチは、周辺の季節の花の蜜を集めます。ミツバチの受粉により実をつける作物は多いため、数が減少すると私たちが食べる野菜や果物に大きな影響が出る可能性も。自然の大切さや地球温暖化などに関心を持ってもらえるよう、課外授業や出張授業も行っています。



過去の掲載記事▲

SDGsアクション②

犬・猫の殺処分
ゼロをめざして

〔HOGOKEN CAFE®
天神橋店〕

里親募集中の保護犬・保護猫と出会うカフェです。いつでも犬や猫に会いに来られるのが特徴で、ドリンクを注文すれば、犬たちと遊ぶだけの利用も可能。大切な家族として責任を持って迎え、最期まで見届けてもらえるよう、犬猫の譲渡に際しては条件を設け、譲渡契約書への同意を求めています。



過去の掲載記事▲

SDGsアクション③

小中学生主体の
読書ボランティア
「キッズスマイルブック」

豊崎本庄小学校の児童を中心に活動し、北図書館や子ども・子育てプラザで紙芝居や絵本の読み聞かせなどを行っています。読み聞かせをしたという子どもたちの熱意に共感し、読書を好きになるきっかけになってくれたらという思いで始まった活動は、異なる年齢層の子どもたちの交流の場にもなっています。



過去の掲載記事▲

SDGsアクション④

シェアサイクルで
ホームレスの就労支援を
〔Hubchari(ハブチャリ)〕

電動自転車のシェアリングサービスです。運営するのはホームレス支援の認定NPO法人HomeDoor(ホームドア)。ホームレスの人が得意とする自転車修理の技を活かし、メンテナンスやバッテリー交換などで雇用を生み出すと共にHubchariで得た収入を彼らの支援に充て、自転車とホームレスの問題を同時に解決する取組です。



過去の掲載記事▲

新たにお話を聞きました

SDGsアクション⑤

誰にとっても
「やさしい」居場所
〔海鮮居酒屋てつたろう〕

路上生活者への弁当の配布をはじめ、障がい者雇用や自殺防止など様々な社会課題の解決に取り組んでいます。「2022年からは『こども食堂』を招待し子どもたちが好きなものを選んで食べられるよう、バイキング形式にしたり、企画に賛同してくれたお客さんにご馳走してもらえたり仕掛けをつくらせています。彼らが大人になった時、



オーナーの柳川尊之さん



「店の中走り回ってもいいけど気をつけや」と子どもたちに声を掛ける



過去の掲載記事▲



てつたろうのHP▲

SDGsアクション⑥

もっと淀川を知ってほしい
〔淀川管内河川レンジャー・アドバイザー〕

毛馬閘門から河口付近で活動する亀井さんは、防災と自然観察を中心に活動しています。「防災講座では20センチほどの深さの泥水の中を歩いてその難しさを体験してもらい、早めの避難の大切さを伝えていきます」

小魚をエサにするアオサギなども多く見掛けるようになりました。淀川大堰の魚道観察会では、遡上する稚アユやそれを狙う野鳥を見ることが出来ます。「近くにこれほど自然豊かな川があるんです。もっと淀川を知って、親しんでもらいたいですね」



過去の掲載記事▲



淀川管内河川レンジャーのHP▲

小さなことから世界を変えよう

「個人の力では何も変わらない」と思いませんか？
いえいえ、日常のちょっとしたアクションが
よりよい明日につながります。

例えば…

- 1 マイボトル・マイバッグを持ち歩く
- 2 ごみの分別を徹底する
- 3 買った服や食べ物がどうやってつくられたのか考えてみる
- 4 地域活動やボランティアに参加する



奇数月第1日曜の朝9時から20人ほどが清掃活動を続けている



菅南地域活動協議会の紹介HP▲

自然も守っています。

を行い、大川沿いの景観・



「菅南クリーン大作戦」で
天神浜がきれいになった
〔菅南地域活動協議会〕



菅南連合振興町会 会長 後藤孝一さん